

令和4年度第6回スポーツ団体組織統合検討会議 顛末

日 時：令和5年2月24日 15時00分～16時30分
場 所：駅前交流プラザよろーな会議室4
出席者：別紙のとおり

1. 前回会議振り返り（議事録確認：財源確保に関する具体的な事業他）—資料1
第1回スポーツ団体組織統合検討会議代表者会議顛末—資料2
2. 新組織における具体的な組織形態・人事体制について—資料3

【決定事項】

- ◆金銭的・時間的・実務的なコスト削減から、法人格は名寄体協の法人格を利用する。見え方としては3者が統合して一つの新組織となる。
- ◆法人格の名称を変更し R5 年度中のスタートに向けて準備を進めていく。
- ◆現在の事業を継続していくことを前提に、必要に応じて整理する。
- ◆人材は現在雇用している人を継続雇用することを前提に、地域おこし協力隊の雇用も検討。スポーツで新しい組織を創っていく。

【以下議事録】

1. 前回会議振り返り及び進捗状況、代表者会議の報告

事務局 名寄市 松澤)

代表者会議で令和5年度中に、風連町スポーツ協会、名寄市体育協会、Nスポーツコミッション統合の新法人を設立するという方針がきまった。会議内では統合に向けたスケジュールを決めてほしいと言われ、事務局素案としてはR5中ということで進めていたので、その旨を吉田会長、日根野会長ともに了承もらった。加藤市長からも、部活動地域移行が進むので、ぜひ新組織で受け入れてもらいたいと思っている。前回の代表者会議で今後の方向性は定まってきている。

- ・新法人の事業として、部活動の地域移行を主体的に取り組むこと※令和7年度末までに土・日曜日の部活動地域移行。
- ・Nスポーツコミッション新組織体制として、専門委員会を理事会直下に設け、その中にマーケティングやジュニアスポーツ委員会を設けてはどうか。さらに専門委員会も設けて、専門委員会の役割にしながら進めていく。ジュニアスポーツ委員会は運動部活動の地域移行や人口減少課題にもつながってくる
- ・選手の強化を行う委員会や、健康づくり委員会、施設管理委員会。スポーツ産業委員会を設置する。

2. 新組織における具体的な組織形態・人事体制について

事務局 名寄市 松澤)

・(資料3_5p) 加盟団体協議会を設置してはどうかという提案。N スポ側に旅館組合なども入っているので、それも含めて協議会を創ってはどうか。その他に少年団はもちろん、ジュニアクラブチーム、総合型スポーツクラブを含めたジュニアスポーツ協議会を創る。この2つの協議会が意見を吸い上げ、専門委員会に提案していく。専門委員会が実務をスピーディーに担っていく。

・(資料3_6p) ジュニアスポーツ委員会と別に、指導者育成などを含めた強化委員会をつくる。市民健康向上を目指して、他機関と連携していく健康づくり委員会、指定管理を受けていく&施設の利用促進を進める施設管理委員会、スポーツ産業は大会・合宿誘致、ジュニアスポーツ委員会は部活動地域移行や総合型スポーツクラブの運営の検討などを行う。

<以下意見交換>

●スケジュールについて

・代表者が確認しあっているのであれば、後戻りはできない。R5年度中にできるのか？ 法人手続き、スピードを上げないといけない。法人設立に向け、どれくらい時間がかかるのか？

→事務局 名寄市 松澤)：会計士にも相談したが、コストとスピード感を考えると、現在の名寄体協の法人格を使い、名前や役員、定款などを刷新する、というのが実務的にも早く、コストも少なくて済む。表面上は3者が一緒になる。

・具体的なところを詰めていきたい。競技団体のみなさんに不備がでないかが心配。デメリットが出ないようなスムーズな移行をこの会議で決めていきたい。

・早い変更でどれくらいかかるのか？

→事務局 名寄市 松澤)：体育協会は6月末の最終評議委員会と役員再選があるので、それ以降であればスタートできる。登記の手続きなどがあるが技術的にはそんなに手間はかからない。

・風連スポーツ) 連休明けに風連も総会が必要。それまでに話しをしないと。肝心なところの部分はしっかりしておかないと。

・名寄体協) まずは理事の了承が必要。それ以外には方法はない？時間とコストがかかる。

→トップ会談で方向性が出ているのだから「理事に理解してもらえるかどうか」はということはないはず。しっかり理事に伝えてほしい。説明が難しい場合は名寄市もN スポも説明に行く。

・風連スポーツ)：名寄体協にしっかり理解してもらわないと。名寄側に了承してもらわないと前に進まない。

●雇用について

・体育協会のプロパーの人を4人そのまま雇用する認識でいる。そもそも、最初の代表者会議でこれを

合意した上でこの会議体は始まっている。

・若い人材を増やし、人口減少という課題の中で施設管理の通年雇用人材を増やしていきたい。地域課題解決や組織周りを動かせるマネジメントできる人材や理想的には地元出身元アスリートがセカンドキャリアとして地域に戻ってくる際の受け皿となることを目指していく。地域おこし協力隊の雇用も視野に入れる。

●周知について

・市民に伝わってないので、伝えていくようにしてもらいたい。

・競技団体の想いはまだ表にでてきていない感じがあるので。将来を見据えて、その方向についていく、というような取り組みにしてほしい。

→名寄体協、風連スポーツ協会にしっかりと説明をお願いしたい。

●組織体制・事業について

・トップで方向性が示された。市民・子どもが良い環境でスポーツできる組織になってほしい。

・統合した後は、指定管理者はどうなるのか。指定管理の委員会の中での承認が必要。現在名寄市体育協会が実施しているものを使用するのか。風連の指定管理はどうなるのか？

→事務局 名寄市 松澤)：指定管理は指定管理委員会があるので、そこで揉んでもらい、議会にかけてもらって承認をもらってやる。半年くらいかかる。

→名寄市 石橋部長)：少しテクニカルな部分で、公認会計士と相談していく。

・競技団体の不安は補助金など取得できる？途中で組織が変わるとどうか？

→事務局 名寄市 松澤)：いまやっている事業については、変えないと合意してもらえればいだけ。少年団の返ってくるお金なども定数制でやれば、これまでと大きく変わらず返ってくる。

・加盟団体協議会、ジュニアスポーツ協議会は人数が多すぎるのでは？団体数が多いが、今後は企業や大学が参画すると、非常に大きな組織となるため、意思決定のスピードが遅くなるのではないか。加盟団体協議会の階層の下にスポーツ部門と一般会員部門を分け、加盟団体協議会の階層の上に新たにスポーツ団体と一般団体との2本立てに分ける方がわかりやすいのではないか。

→事務局 Nスポ 黒井)：基本的にこの二つの協議会は、現場で起きていることを上へ（専門委員会や理事会へ）情報提供すること、逆に上が決定したことを落としていく役割。加盟団体協議会から出てきた意見や議論を専門委員会に挙げ、専門委員会が話し合い・決定・実行していく。協議会は意志決定・実行ではなく、横の交流や情報共有がメインで重要となる。

・上部団体からの情報は？どう落としていくのか？スポーツ振興協会との関わりはどうなるのか？

→事務局 名寄市 松澤)：加盟は変わらない。北海道スポーツ協会の方には名前変更しても大丈夫と確認済。少年団の情報は少年団、ジュニアクラブはジュニアへきちんと落としていく。

・まちづくり観光との兼ね合いは商工会や観光協会との関係はどうなるのか。

→事務局 名寄市 松澤)：名寄市の想いとしては、観光協会はスポーツツーリズムのノウハウを持っているので、一緒にコミッションの中に入れてもらえると良いと考えている。スポーツツーリズムの動きが各地自体で大きくなっている。

→名寄市 石橋部長)：将来的に地域の総合商社になることを目指し、さまざまな組織体のスポーツに関する事業が一つになりスポーツで地域振興を行う。

・競技団体のことだけでなく、スポーツを通じた地域振興も含めた、広い話しをできるようにしていく。今後は愛好団体も賛同があれば参加してもらってもいいと思う。スポーツと関係のない企業も入り、スポーツを通して地域振興をするビジョンを共にする団体であれば参加できるプラットフォームとしての組織体を目指す。

●法人格について

・事務局 名寄市 松澤)：社団か財団かという話があり、公認会計士にも相談したが、財産の帰属の部分などからいっても、現状の一般財団法人がいいのでは、という話しだった。体育協会が現在保持している財産の帰属の観点から、財団法人が社団法人と比較すると進めやすいのではないか。将来的に組織解散になった際の分配リスク対策としても財団法人が税法上は良いだろう。

・N スポは財団法人に乗っかることはできないと梅野さんからあったがそれはどうなっているのか？

→事務局 名寄市 松澤)：お話したとおり、法人格を利用する形であれば問題はない。

・公益財団のほうが寄附控除があるが、決算などの資料提出や監査などがかなり厳しく大変になるので、一般財団のままのほうがいいと思う。

●名称について

・「なよろ」はひらがなで入れたらどうか？

・N にはノース「道北」という意味もある。先を見据えた部分もあるが、N スポの名称は残したい

・名寄という地名がすぐイメージできるものが良いため、名寄は残したい

「なよろ」と「N スポーツコミッション」を両方入れておいてほしい

・広域ということも考えなくてはならない。部活動、少年団など広域で考えると、あえて「なよろ」という地名を使用しない方が良いのではないか（体育協会並びでどの地域の協会なのか不透明なのは理解）

・名寄外の視点で考えると広域で考えるべきではないか、周辺地域が5年程度で入ってくる予想。自治体色が少し薄まったものの方がいいのではないか。

・名称は今後も話し合っていく。

●統合に向けた具体的なスケジュール

・事務局 名寄市 松澤)：名寄体協の法人格を使い R5 年度中に新しい体制でスタートを皆様から合意を得られるように進めてもらいたい。各団体で説明、個別で了承を得て、事務局に戻す流れにできると推進しやすい。大きなスケジュールは代表者会議で決めたので、そのほかの詳細はこの会議内で意思決定を行っていく。

・事務局 N スポ黒井)：前回の代表者会議に参加した所感として、代表者会議を何度も開くより、当検討会議で決定し方向性を共有し組織の代表に伝える方が進むだろう。今回の会議の結果を代表者や理事へ個別にでもお伝えしてもらって、合意を得てほしい。

【名寄市体育協会・今後のスケジュール】

理事会 3月末

決算→理事会→評議委員選定 5月

評議委員会 6月

役員改選・理事選出、役員の互選、 6月下旬。定款を変える必要がどこかで出てくる。

【風連町・今後のスケジュール】

役員会 4月

総会 (=理事会) 5月連休明け

(3-4月：理事会を開き理解をとり、総会を開きたい)

【新体制へ向けてのスケジュール】

・今後は検討委員会メンバーが期限を切り決めていくべき。名寄体育協会法人格を借りて役員改選の7月が一つポイントとなる。

以上